

## 石橋財団フォーラム

公益財団法人石橋財団は、寄付助成事業で支援した活動を広く皆さまにご紹介し、情報交換するフォーラム型プログラムを開催します。

# Forum

## 海を渡った日本美術

### — 酒吞童子絵巻を中心に

2024年12月13日(金) 18:30-20:00 (開場 18:00)

日本美術は海外でも愛好されており、外国の美術館で展示されている日本美術は、日本の文化大使として重要な役割を果たしています。しかし、外国では日本美術の専門家の数が限られているため、美術館の収蔵庫の中で誰にも知られることなく深い眠りについている作品もあります。本講演では、ドイツのライプツィヒ民族学博物館に所蔵される住吉廣行《酒吞童子絵巻》の発見と、そこから始まった研究の世界をご紹介します。

講師の江村知子氏は、ドイツのハイデルベルク大学東アジア美術史研究所が主催する日本美術史客員教授制度の2019年招聘教授としてハイデルベルク大学に赴き、それをきっかけとしてこの《酒吞童子絵巻》の研究を始められました。本制度は、ヨーロッパ、北米、日本、その他世界中の研究機関から研究者をハイデルベルク大学に短期間招聴して、日本美術史研究の国際的な橋渡しをすることを目的とするもので、石橋財団は2005年の制度創設時から20年間継続的に支援しています。

会場 公益財団法人 石橋財団 アーティゾン美術館3階 レクチャールーム

言語 日本語

定員 70人(事前予約制・先着順) / 自由席

※定員に達し次第、受付終了

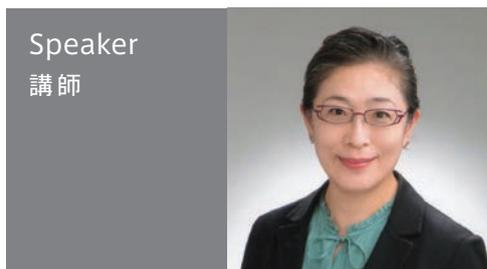
参加費 無料

申込み 石橋財団ホームページから

[www.ishibashi-foundation.or.jp/programs/grant/forum/](http://www.ishibashi-foundation.or.jp/programs/grant/forum/)

#### ご注意

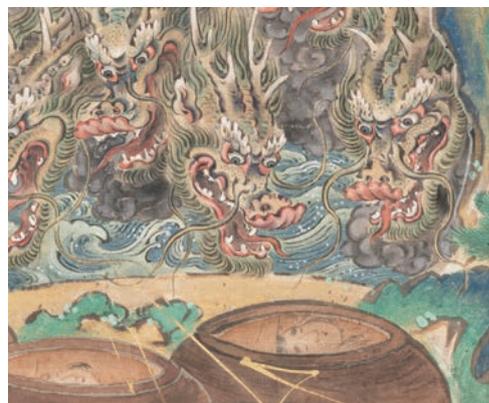
- ・レクチャールームは無料エリアのため、展覧会をご覧にならなくても受講可能です。
- ・当日、体調の悪い方、発熱や咳き込み等の症状のある方はご参加いただけません。
- ・諸般の事情により、プログラムを中止することがあります。



Speaker  
講師

#### 江村知子

(独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所文化財情報資料部部长) 早稲田大学第二文学部助手を経て2006年より東京文化財研究所にて勤務。日本近世絵画を中心とした研究業務に従事するほか、学習院大学の非常勤講師も務める。



住吉廣行《酒吞童子絵巻》第1巻部分(1786年)、ライプツィヒ民族学博物館



ドイツのライプツィヒ民族学博物館での調査(2023年) 提供: 独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所

公益財団法人

石橋財団

〒104-0031 東京都中央区京橋1-7-2 [www.ishibashi-foundation.or.jp](http://www.ishibashi-foundation.or.jp)

JR東京駅(八重洲中央口)、東京メトロ銀座線・京橋駅(6番、7番出口)、東京メトロ・銀座線/東西線/都営浅草線・日本橋駅(B1出口)から徒歩5分